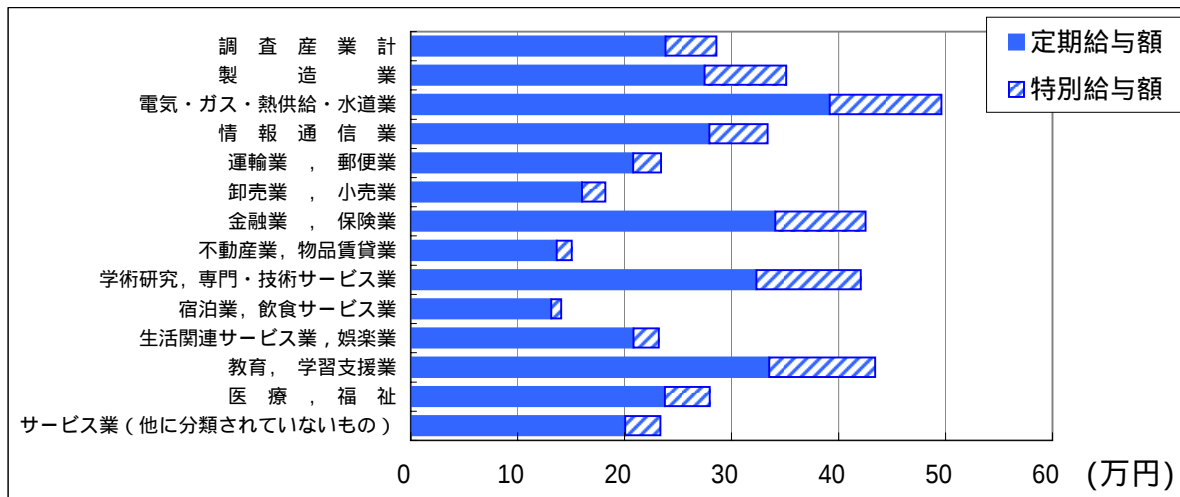


労働諸条件の概況

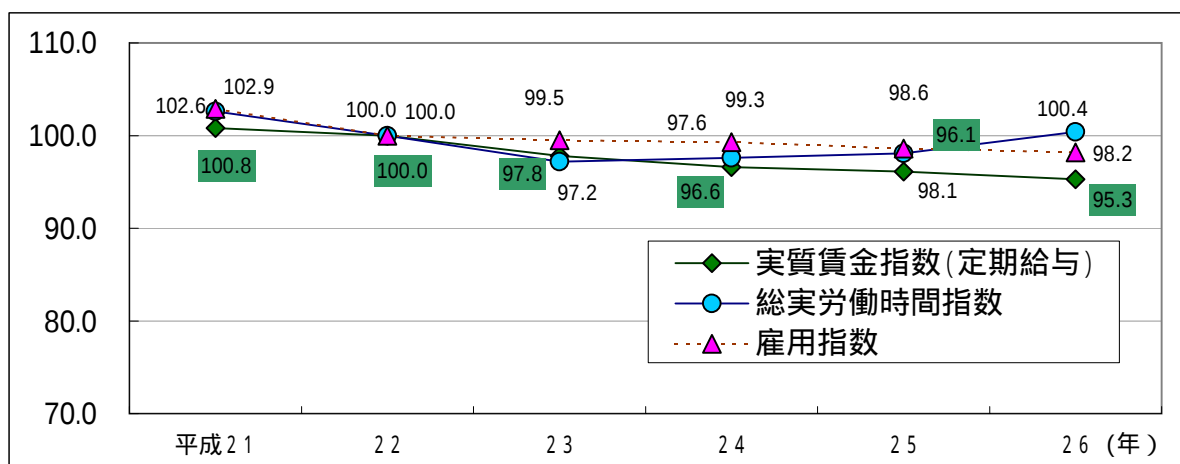
現金給与総額の産業別比較（平成26年平均月額）

30人以上



注 「鉱業，採石業，砂利採取業」「建設業」「複合サービス事業」は秘匿のため掲載していない。

指数の推移（調査産業計・平成22年＝100）



1 賃金

平成26年の一人平均月間現金給与総額は、調査産業計で286,197円となり、前年比は名目2.6%の増、実質で0.1%の増であった。

現金給与総額のうち、きまって支給する給与は238,185円で、前年比は名目1.7%の増、実質で0.8%の減であった。

2 労働時間及び出勤日数

平成26年の一人平均月間総実労働時間は、調査産業計で150.7時間となり、前年比は2.3%の増であった。このうち所定内労働時間は138.0時間で前年比は2.1%の増、所定外労働時間は12.7時間で前年比は4.3%の増であった。

なお、一人平均月間出勤日数は19.3日で前年比0.1日の減であった。

3 常用雇用

常用労働者の調査産業計は215,892人であり、前年比は0.4%の減であった。

注）平成22年1月より平成19年11月に改訂された日本標準産業分類により表章している。

対前年比については、指数をもとに算定しているため、実数値から算定される数値とは必ずしも一致しない。

（県統計課）